




論文審査結果の要旨

論文提出者	半 田 千 恵
論文審査委員	主 査 尾 崎 正 雄 
	副 査 佐 藤 博 信 
	副 査 岡 部 幸 司 
論 文 題 目	Evaluation of effects of activator treatment on mandibular growth by analyzing components of condylar growth and mandibular rotation
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>成長期の骨格性上顎前突の矯正治療において、アクチバトールは下顎骨の成長促進を目的として広く用いられている装置であるが、治療による変化の多様性や顎顔面形態との関連については不明な点が多い。本研究では、アクチバトールによる治療中の下顎骨の成長変化を、下顎頭の成長と下顎の回転と分離して評価し、さらに治療効果と初診時の顎顔面形態との関連性について計測値による相関分析が行われている。その結果、アクチバトールによる下顎の前方成長には、下顎頭の水平的成長と下顎の前上方回転の両方が関与しており、また上下顎関係の改善には、下顎頭の垂直的成長と下顎の前上方回転の両方が関与していることを明確化し、さらに、初診時に下顎下縁平面の平坦化、下顎角の狭小、下顎枝の後傾、大きな後顔面高の特徴を示す症例では、アクチバトールの治療効果の得やすいことなど、治療方針決定に際して有意義な新知見として得ている。予備審査においても良く返答し、その後、不足部分はレポートにて答えさせたところ、明確で十分な解答が得られたので、学位論文に値すると判断した。</p>	